

開講日	2009年8学期 月曜日 18:30-20:30	講義場所	研究棟11階講義室B	医	技	保
				○	●	●
コーディネーター	滝村雅人、小笠原昭彦、野中壽子			※●:コア科目、○:選択科目		

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】平成19年度に特別支援教育が学校教育法に位置づけられたことを受け、小中学校の特別支援教育担当教員を対象に、発達障害に対する専門的知識の研修および、具体的事例の検討を通して、個々の教員の発達障害に対する理解を深め、学校現場におけるより良い指導体制の構築を支援することを目的とする。</p> <p>【期待される成果】学校教育の現場における発達障害に対する理解が深まり、個別の指導計画や教育支援計画作成に貢献できる。また、地域を取り込んだ支援体制システムの必要性を理解することで、より良い指導体制が構築されることが期待できる。</p>
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
発達障害 の理解	1	臨床心理学的にみた発達障害	発達障害の中でも、LD、ADHD、高機能自閉症について、臨床心理学的観点から解説する。	8月3日	陸山英順 日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科
	2	発達障害児の行動理解	LD、ADHD、高機能自閉症等の子どもに見られやすい行動の特徴と、その行動や機能の意味について解説する。	8月10日	石川直子 スクールカウンセラー
指導の実 際	3	発達障害児の個別指導のあり方	個々の子どもの行動特性に応じた指導の考え方、計画の策定方法などについて解説する。	8月17日	教授 大河内修 愛知江南短期大学現代幼児学科
	4	社会的スキル獲得の重要性	社会的スキルについての基本的理解と、指導内容について解説する。	8月24日	教授 滝村雅人 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
	5	通常学級における社会的スキル指導	学級という集団における社会的スキルの具体的指導法について解説する。	8月31日	教授 滝村雅人 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
事例研究	6	発達障害児の観察事例	発達障害児を対象とした親子遊び教室における行動観察と分析方法について事例研究を行なう。	9月7日	教授 野中壽子 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
	7	保護者との連携と支援	保護者との連携を語る上で「保護者の願いや思いを受け取る」ことの重要性について考え、保護者への支援体制のあり方について解説する。	9月14日	准教授 奥平俊子 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
	8	保護者との連携の具体的方法	ロールプレイを通して教育相談の疑似体験をし、保護者の思いをどのように受け止めるべきか、対応方法を具体的に考える。	9月28日	准教授 奥平俊子 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
	9	教育相談の具体的事例	教育相談の具体的事例を取り上げ、他の専門機関との連携による支援体制について解説する。	10月5日	准教授 奥平俊子 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
地域にお ける取組み	10	名古屋市の特別支援教育と地域連携	名古屋市の特別支援教育の現状と特別支援教育推進のための組織的な取り組みについて考える。	10月19日	藤本泰孝 名古屋市教育センター
	11	地域における支援体制のあり方	地域における医療や教育、行政など関係諸機関が連携した支援の具体的事例について解説する。	10月26日	小川真紀 名古屋市発達障害者支援センター
	12	発達障害支援グループの活動事例	アスペルガー症候群の子どもを対象とした、民間支援グループの活動事例について解説する。	11月2日	教授 花井忠征 中部大学現代教育学部
発達診断	13	WISC-IIIについて	LD、ADHD、高機能自閉症などの発達障害をより深く理解し、支援に活かすために、WISC-IIIの実施方法について解説する。	11月9日	教授 小笠原昭彦 名古屋市立大学看護学部
	14	WISC-IIIによるアセスメント事例	WISC-IIIのアセスメント事例から、指導現場での活用方法について考える。	11月16日	教授 小笠原昭彦 名古屋市立大学看護学部
まとめ	15	発達障害に対する包括的な支援体制	個々の子どもに対する支援、教員に対する支援、学校に対する支援、保護者への支援、地域での支援、さらにそれらの連携について、包括的な支援体制について解説する。	11月30日	教授 滝村雅人 名古屋市立大学大学院人間文化研究科